

住みよいたけし

住みよい武石をつくる会広報

第14号

2019年8月16日発行

事務所 武石地域自治センター内

TEL:0268-85-3667

<http://www.s-takeshi.jp>

印刷 中澤印刷株式会社



自然教室

7月4日・5日、武石小学校5年生32名の自然教室が行われました。

焼山沢を登る美ヶ原登山は、あいにくの雨のため中止になりましたが、美ヶ原高原美術館見学の後夕方からは巣栗キャンプ場で班ごとに分かれて飯盒炊さん・カレー作り、キャンプファイヤーそして子供たちだけのバンガローでの宿泊。2日目は、森林体験。ピザ作り、木工アクセサリー作り、そしてツリークライミングを楽しみました。

上本入の(株)小山林産の社員の皆さんの指導により、ヘルメットと安全ベルトを着けロープで確保してもらいながら赤松の木のツリークライミング。約12メートルの高さに取り付けられた鈴を目指して木登りに挑戦しました。鈴を鳴らし、ロープで懸垂下降した女の子からは、「絶対一番

上まで登ってやろうと思って頑張った。怖いけど楽しかった。またやってみたい」とたくましい感想が。

ツリークライミングは、県下の小学校の中で武石小学校だけでできる貴重な体験です。指導した小山教洋社長は、「森林体験を8年お手伝いしていますが、この体験を通じ、少しでも林業がカッコいいと興味を持ってもらえれば。1人でも2人でも林業後継者が育ってくれればうれしい」と話しています。

子どもたちにとっては、家族や親戚を離れて初めての宿泊、食事作り、自然と親しむ冒険にと、少し大人に近くなりました。

学校では、美ヶ原登山については後日改めて計画したいとしています。

道路環境クリーン大作戦



作業前



作業後

7月7日(日)午前8時より、武石地域の各地で「道路環境クリーン大作戦」が行われました。

この活動には、本会自然・生活環境部会も共催し、作業に当たりました。また、各自治会でも交通安全協会武石支部が主体となって交通支障物除去事業が行われました。

西武地区の横沢橋周辺では、交通安全協会と地元自治会の皆さん9名により、道端の草刈やせり出した立木の枝打ちなどの作業が行われ、藪合地区では、朝8時から安協役員5名が、メフトロン東側の市道約50mにわたり、道路に

覆いかぶさるように繁茂した草を刈り取りました。

依田達安協武石支部長の沢春樹さんは、「大変な作業ですが、地元の皆さんと協力して住みよい武石をつくる作業だと思っています」とチエンソーを立木の枝に当てていました。

作業後は、カーブの見通しも良く、草木に隠れていた標識もはっきり見えるようになり、事故防止のための環境整備が行われました。



横沢橋周辺



藪合地区

市内住民自治組織全体会議

7月1日(月)上田市内各住民自治組織の正副会長等が会し住民自治組織全体会議が開催されました。

本年6月、新たに神川まちづくり委員会が設立され、現在上田市では、9地区11の住民自治組織が活動しています。

全体会議では、各組織の活動内容が紹介され、防災啓発活動、高齢者支援、地域見守り活動、環境保全活動など住みよい武石をつくる会でも参考とすべき取り組みもありましたが、内容は様々で取り組みへの認識も差異があり、各組織とも手さぐりでの運営を行っている状況のようでした。

市との意見交換では、交付金の取り扱いについての意見や要望が多く、運営資金面で苦慮している組織もあり、交付金の額や運用の見直しなど早急な市の対応が望まれます。



お寺でヨガ

7月20日(土)、健康福祉体育部会主催による第2回目となるお寺でヨガ教室が妙見寺で開催されました。



総合センターが着工へ



武石地域総合センター整備事業安全祈願祭・起工式が、7月29日(月)旧武石公民館コミュニティホールで挙行されました。

建設地となる旧武石公民館本体は、既に取り壊し工事が始まっています。施工者「北

澤・飯島特定建設共同企業体、石井電気工業(株)、日本ガス水道(株)」による建築主体・電気設備・機械設備工事の安全祈願祭に併せ起工式には、市長、市議会議員・議員、教育委員会、武石地域財産区議会、自治連、地域協議会、住みよい武石をつくる会、工事関係者など100名余が出席し工事の安全と施設が無事に完成することを祈願しました。

総合センターは2021年3月完成の予定です。そして広場や駐車場等全体の工事の完成は2022年度の予定です。地域の拠り所、地域コミュニティの核となる施設、広場であり完成が待たれます。

サテライト市長室

7月29日(月)、市長が武石地区で執務するサテライト市長室が開かれました。

土屋市長は、朝から酒米栽培や武石財産区議員との懇談、総合センター起工式、行政課題となっている施設の視察と盛りだくさんの日程の中、夕方からは住みよい武石をつくる会運営委員と懇談しました。

懇談会では、つくる会の活動の現状や課題について委員側から説明・報告し、市長からは、「カルタ歴史さんぽみちを始め、住みよい武石をつくる会が取り組んでいる地域の良さを知ること、郷土愛を育てることは大事と思う。市でも、信州上田学により地域を知り、発信する事業に取り組んでいる。地域で知恵を出し合い、まさに住みよい地域づくりを目指してほしい」とコメントがありました。





武石地域の農業

ブロッコリー

下本入から上本入にかけて、近年ブロッコリー畑が目につくようになりました。遊休農地を再生しブロッコリー畑にした農地や、他の作物から転換する農家もあります。

武石ではいつ頃からブロッコリー生産が増えたのでしょうか。JA信州うえだよだくば南部地区事業部営農課羽毛田課長にお聞きしました。

ブロッコリーは、初期設備投資が少なく始めやすいこと、農協で共済体制をとったことで箱詰めの手間が省けたことなどから、生産者は面積を増やしやすく、栽培面積が増えています。また、JAで氷詰め予冷のシステムを作ったこと、競合産地が少ないこと、栄養価が高いことなどで市場の人气が高く、JA信州うえだの推奨品目に指定されています。

武石地域では10数名の農家のほか、企業でもブロッコリーを栽培しています。ブロッコリーは標高の低いところでは5～6月と9～11月の年2回の栽培が普通で、7～8月の出荷は暑さのため難しいのですが、武石は高冷地という条件を利用し、この時期の出荷が可能です。

こうしたことから、現在22～23ヘクタール、5kg入りで39,000ケースの出荷まで伸びています。出荷先は地元のほか、東京、大阪の市場で、武石の生産者10数名が参加している直売組織の「チーム^{タスキ}」では、広島のスーパ-に直接出荷するなど、販売体制も広がっています。



とのお話でした。冷涼地の条件を生かした武石の特産品目として、これからも伸びていってほしいですね。

エリアトークの使い方

エリアトークは、運用から1年半が経過し、地域の情報システムとして根付いてきました。これからも便利にお使いいただけるよう、改めて放送についてお知らせします。

放送の種類	放送の仕方
1 定時放送	
毎日7時10分、21時10分の一日2回放送	平日午前中に、武石地域自治センター玄関にあるポスト又は事務局に放送原稿を提出。200字以内、放送は2回まで。
2 臨時放送	
土・日・祝祭日、平日の急なお知らせ・予定の変更など、定時放送に間に合わないとき	エリアトーク専用電話（85-2511）に電話し、放送担当者に依頼します。受付時間：7時～21時。
3 緊急放送	
特別警報などの気象情報、避難情報、Jアラートなど	行政から情報が伝達されます。
4 自治会放送	
自治会内だけの連絡、放送	自治会長に放送を依頼します。

これから台風など災害の発生が多くなる季節です。災害発生時には、避難指示・勧告の伝達、住民の安否確認等でエリアトークによる情報伝達は大変有効です。全世帯がエリアトークに加入しましょう。

お知らせコーナー



8月中旬～10月上旬

- 「わたしと紬とあかりと」UEDA SILK展
…8月2日（金）～10月27日（日） 武石ともしび博物館
- 武石地域防災訓練…8月31日（土） 7時～
- 萩見の茶会…9月1日（日） 武石ともしび博物館
- 武石地域敬老会
…9月7日（土） 11時～ 長和町町民センター
- 美ヶ原高原ノルディックウォーキング…9月7日（土）
- たけしカルタ歴史さんぽみち
…9月8日（日） 子育て教育文化部会主催
- 武石小学校校庭運動会…9月21日（土）
- 依田窪南部中学校「紫苑祭」…9月27日（金）・28日（土）
- 美ヶ原高原笹刈り…9月28日（土）
- 茶灯会…10月 5日（土） 武石ともしび博物館
- 武石保育園運動会…10月5日（土）
- たけし紅葉めぐりウォーキング
…10月19日（土） 健康福祉体育部会主催
- ともしびの里駅伝大会…10月27日（日）

おさんぽギャラリー秋 …11月2日（土）

《 第3回仮装大賞参加者募集 》

【お問い合わせ/申し込み】

武石風土つなぎ隊 柳沢さん（090-5790-4508）

申し込み締め切り 9月末日



武石を盛り上げる
人やグループ紹介

武石の人 団体

「武石の縁が輪」は、誰でも気軽にお茶をの
みながらおしゃべりをするお茶飲みサ
ロンとして、昨年4月から月2回開催されています。

毎回 20 人程の皆さんが利用するとの事です、利
用する人は、ご近所の皆さん、デマンドや自家用車
の送迎で来る人、武石以外の人、など様々です。

現在は、依田さんと数名のお手伝いの方で運営
をしていますが、誰でも来て自分でお茶を入れても
らって構いませんとの事です。

また、上田市のボランティア団体「はなみずきの会」
の皆さんによるハンドマッサージや、長野大学社会
福祉学科の学生さんによるボランティア活動も行われ
ています。



武石の縁が輪 代表 依田由枝さん



訪問した日は朝方に雨
が降り、出足が良くあり
ませんでした、それでも
時間とともに多くの皆さん
が集まり、彼方此方でお
茶やコーヒーを飲みながら
おしゃべりに花が咲きまし
た。また、ハンドマッサー
ジをしてもらった人は、気持ち良さに目を細めていま
した。

「縁が輪」は、昔の家にあった「縁側」の当て字で
すが、「縁側は、土足のまま、そのままの格好でお茶
が飲める場所です。誰でも気軽に寄ってもらって、お
茶を飲んでおしゃべりをしてほしいという願いを込め
て「武石の縁が輪」と名付けています」と依田さんは、
話していました。

ぜひ一度お気軽に寄って、おしゃべりを楽しんでみ
てはいかがでしょうか。

「武石の縁が輪」の開催

開催日：毎月 第2、第4木曜日（2回／月）
時 間：午前10時から午後2時まで
場 所：JAひだまり武石（旧JA武石店）

上田市消防団武石西部分団 ラッパ班

たかし

村岡 峻さん

6月 23日（日）、上田市消防団の第14回ポン
プ操法・ラッパ吹奏大会が行われ、ラッパ
吹奏個人の部で武石西部分団の村岡峻さんが第2位
入賞（全58人参加）の成績を収めました。

村岡さんは、武石でミニトマトやブロッコリーを生
産・出荷している野菜農家です。特にミニトマトの栽
培に主力を置いて、ビニールハウス8棟（約16アール）
で、2,500本のミニトマトを栽培しています。

「就農して4年目、まずは生活が安定出来るような
経営を目指して規模拡大等を図ってゆきたい」と今後

の抱負を話していました。

今年は天候不順で少し影響が出ていますが、ミニ
トマトの出荷は8月、9月に最盛期を向かえ、その後
も11月～12月上旬まで続くとの事です。

